

(米日財団助成・日米ソーシャルイノベーションネットワーク)
複雑な社会を動かすNPOリーダーシップ
～市民社会と自団体の次なるビジョンを探求する～

1. 背景・目的

分断や対立、格差社会が広がる中で、NPOやソーシャルビジネスは社会課題解決の重要な担い手としてその成長を遂げています。同時に、複雑さを増す社会構造や利害関係、既存アプローチの限界に直面する中で、多くのリーダーが事業経営や自らの持続可能なあり方を模索しています。こうした状況は、NPOやソーシャルビジネスが拡大途上にある日本社会のリーダーたちのみならず、市民社会のあり方が問い直される昨今のアメリカ社会のNPOリーダーにとっても、過酷と考えられます。

こうした背景のもと、NPOや社会的事業のリーダーたちが、より良い社会に向けて志を同じくする仲間と出会い、互いの実践から学び合うことで、それまでの延長線上にない画期的なアイデアやアプローチを創発するためのコミュニティ「**日米ソーシャルイノベーションネットワーク (JUSSIN)**」が、2025年に立ち上がりました。本ネットワークでは、社会課題解決に資するサービスが広がり、安定的な収益から事業経営が軌道にのったNPOやソーシャルビジネスの経営者が、そこからさらに発展して**社会システム全体への働きかけや、より深いインパクト創出に向けた連携・協働の実現を目的**としています。

2026年度のアニュアルフォーラムでは、アメリカのソーシャルセクターで実践するNPOリーダーを7名日本に招へいし、社会の分断といった困難な状況下でいかに力を発揮し進化し続けているのか、その実体験を共有します。彼らが提供する新たな視点や実践的ヒントを、日本国内で同様に取り組むリーダーたちとともに学び、自分たちが置かれた日本の文脈を再解釈することで、参加者一人ひとりが自身の組織や活動、ひいては**日本の市民社会全体の次なるビジョンを再構築し、具体的な行動へと繋げる**ことを目指します。

本企画は、**全て通訳付き**で開催されます。国際プログラムへの参加が初めての方や、英語での学びが初めてという方にも、安心して参加いただける設計となっています。日米のソーシャルセクターリーダーの交流・知識交換を通じて、両国の実践者たちがそれぞれ取り組む課題解決の突破口となりうる対話の創出を目指します。

主催：NPO法人ETIC.

助成：米日財団

協力：NPO法人新公益連盟

2. セッション概要

- 日程
 - メインセッション（対面）
 - 2026年10月19日（月）～21日（水）
 - オリエンテーションセッション（オンライン）
 - 9月15日（火）9:00～10:00 または
 - 9月17日（木）12:00～13:00より選択して参加
- 場所
 - L stay and grow 晴海（東京）

- 定員
 - 新公連加盟団体を含む、**最大20団体**
(※1団体につき代表者およびマネジメントの中核に携わるメンバー**最大2名**まで。代表者の参加は必須ではありませんが、学びを事業に反映できるメンバーの参加を必須とします)
(※2日目のみ、2025年度の参加者限定でプラス10名の参加枠があります)
- 主なプログラム内容
 - アメリカと日本を取り巻く市民社会の現場について、基調セッション
 - アメリカ社会で取り組むNPOリーダーたちの実体験に学ぶトークセッション
 - 小グループでのテーマ別の学びとディスカッション
 - アメリカのNPOリーダーとの組織別1on1メンタリング
 - コミュニティ交流企画等
(※詳細プログラムは6ページの別添を参照ください)
- 対象・要件
 - 本プログラムは、以下のようなステージにある団体・経営者を主な対象としています。
 - 社会や地域の課題に向き合い、事業や活動を通して価値の創出に取り組んでおり、次の成長段階におけるビジョンとアプローチを検討しているNPO、社会的企業、公益法人等。
 - 既存のサービス提供や収益モデルが一定の規模にあり、セクター横断での連携や、より広範な社会システムへのインパクト創出に強い意欲を持つ組織（有給職員5~10名以上を想定しプログラムは設計しますが、参加はこれに限定しません）
 - 本研修で得た学びを自身の組織における具体的なアクションへ繋げるコミットメントがあるとともに、3日間の全セッションに参加し、他の参加者との対話や共同作業に積極的に貢献する意欲がある方（※）
 - 日米ソーシャルイノベーションネットワークのアルムナイとして、プログラムを通じて出会った他の組織の参加者と長期にわたって関係性を築き、今後の日米交流や、両国のソーシャルセクターの発展に貢献する意欲がある。
 - (※ 10月20日は、アルムナイデーとして、2025年の参加者限定で1日のみの参加枠を想定しています)
 - (※先着順に順次選考しますので、お早めのお申し込みをお勧めいたします。なお、同時期に多数の応募を頂いた場合、応募要件を満たしているかどうかに加え、参加動機や、取り組むテーマの多様性も踏まえて参加者を選ばせて頂く場合もございます)
- 参加費
 - **14,000円**（期間中の食費）
(※米日財団の助成により、10月19日及び20日の宿泊及び自己負担分以外の食事を提供いたします。交通費は自己負担にてお願い申し上げます。また、10月23日からの新公連合宿にご参加される方で延泊を希望される方は21日（水）の宿泊も引き続き提供いたします。申し込みフォームより、希望についてお知らせください)
- 申し込み
 - 申込フォーム：<https://forms.gle/6Mdwe52wQbxAp64F7>
 - 申込締切：**2026年8月12日（水） 10:00まで**
(※10月20日のみの参加を希望するアルムナイの方は、別途ご案内のフォームよりお申し込みください)

- 備考
 - セッション期間中は、通訳者によるコミュニケーションサポートがあります。英語要件は不問です。
 - 障がい等をお持ちの方に対しては、その障がいの内容や程度に応じ、個別に必要なかつ合理的な配慮を行います。サポートが必要な方や参加にあたって不安のある方は、事前に事務局にご相談ください。
- 参考（2025年フォーラムの様子）
 - [複雑さを増す社会構造や分断、既存アプローチの限界という課題に直面する米国ソーシャルセクターのリーダーたち—日米ソーシャルイノベーションネットワーク開催レポート\(前編\)](#)
 - [過酷な現実に挑み続ける米国ソーシャルセクターのリーダーたちと、国を越え、知恵を勇気を分かち合った2日目—日米ソーシャルイノベーションネットワーク開催レポート\(後編\)](#)

2. スピーカー紹介

本セッションでは、アメリカの市民社会で長年取り組んできたNPOリーダーを招へいし、彼らがどのようにしてビジョンを描き続け、システム変革へと歩みを進めてきたかを題材に、理解を深めます。そして、彼らの経験から市民社会を動かす多様なアプローチについてインスピレーションを獲得し、自らが取り組む次なるビジョンを探求します。

コスモ・フジヤマ・ガズナヴィ / The Management Center
パートナー（Cosmo Fujiyama Gaznavi / Partner of Progressive Partnerships, The Management Center）

JUSSINのCo-Founderとして、本イニシアティブの構想と実装をリードする。アメリカのソーシャルセクターにおいて、これまでに延べ4,200人を超える社会的リーダーたちの成長を支援されてきた経験豊かなファシリテーター。複雑な社会課題に立ち向かうリーダーたちが自身のビジョンを明確にし、その実現に向けた具体的な一歩を踏み出すための対話や学びの場を創り出すことが得意。参加者一人ひとりの内省と相互理解を深く引き出し、本研修が目指す「より深いインパクト」の創出を力強くサポートする。



ロジャー・ノザキ / 米日財団 シニア・アドバイザー、元Barr Foundation 戦略及びプログラム担当ヴァイス・プレジデント（Roger H. Nozaki / Senior Advisor for the United States Japan Foundation, former Vice President for Strategy & Program at the Barr Foundation）

30年以上にわたり、米国のフィランソロピーおよびソーシャルセクターでリーダーシップを発揮。Barr Foundationでは戦略・プログラム担当ヴァイス・プレジデントとして教育、芸術、気候変動など幅広い分野の助成戦略を統括した。現在は米日財団シニア・アドバイザーとして日米間の社会イノベーションや市民社会の発展を支援している。財団・NPO・行政・地域をつなぐ豊富な経験をもとに、社会システムを変革するための協働とリーダーシップについて実践的な視点を提供する。



ヨランダ・コエントロ / Institute for Nonprofit Practice 代表理事兼CEO

(Yolanda Coentro / President and CEO, Institute for Nonprofit Practice)

米国のNPOセクターにおけるリーダー育成の第一人者。Institute for Nonprofit PracticeのCEOとして、全米で社会課題解決に挑むNPOリーダーやエグゼクティブの育成を推進している。これまで教育、コミュニティ開発、フィランソロピーなど幅広い分野で活動し、多様なバックグラウンドを持つリーダーが力を発揮できる組織・エコシステムづくりに取り組んできた。誰もがリーダーシップを発揮できる市民社会の実現を目指し、次世代リーダー育成を牽引している。



ショーナ・キャリー / For The People 理事、IDEO.org 元CEO

(Shauna Carey / Board Member for For The People, Former CEO for IDEO.org)

デザインと社会変革をつなぐリーダーとして、長年にわたりインパクトデザインの実践を牽引。IDEO.orgのCEOとして、人間中心デザインを活用し、貧困、ジェンダー、金融包摂など世界各地の社会課題解決プロジェクトを率いた。現在は刑事司法改革に取り組むFor The Peopleの理事を務めるほか、社会的インパクトを生み出す組織への助言・支援を行っている。創造性と実践を組み合わせたリーダーシップに定評がある。



シュレヤ・パヌガンティ / マッキンゼー・アンド・カンパニー 戦略的パートナーシップ・フィランソロピー・ソーシャルインパクト担当 (Sreya Panuganti / Strategic Partnerships, Philanthropy & Social Impact)

JUSSINのFundraising & Partnerships Fellowとして、JUSSINのビジョンに共感する財団、アドバイザー、エコシステムパートナーとの関係構築を担う。現在はマッキンゼー・アンド・カンパニーにて、財団や非営利団体に対し、戦略策定、パートナーシップ構築、組織成長を支援している。社会課題に取り組むリーダーが複雑な課題を乗り越え、多様なセクターとの協働を通じて構想を実現するための支援を行ってきた。信頼に基づく関係性と異文化間の対話から社会イノベーションが生まれるというJUSSINの理念に共感し、人・アイデア・資源をつなぐことで、より大きな社会的インパクトの創出を目指している。



ローレン・イトウ / Google UXリサーチリーダー、詩人、コミュニティ・オーガナイザー (Lauren Ito / UX Research Leader at Google, Poet & Community Organizer)

JUSSINのDesign & Research Fellowとして、JUSSINのブランド戦略及びデザインコーディネートを担当。デザインリサーチとアートの双方を通じて、人々が歴史やアイデンティティ、コミュニティとのつながりを見つめ直す場づくりに取り組んでいる。日系アメリカ人の歴史やディアスポラ、世代を超えた記憶の継承をテーマとした作品やプロジェクトは、Japanese



American National MuseumやSan Francisco Public Libraryなどで紹介されている。デザイン、リサーチ、創作活動を横断しながら、多様な人々との共創を通じてより包摂的な社会の実現を目指している。

3. お申し込み

本セッションへの参加を希望される方は、以下のお申し込みフォームより、必要事項を記載の上お申し込みください。

【申し込みフォーム】 <https://forms.gle/6Mdwe52wQbxAp64F7>

【申込締切】 **2026年8月12日（水） 10:00まで**

（※10月20日のみの参加を希望するアルムナイの方は、別途ご案内のフォームよりお申し込みください）

（※プレ申込みいただいた方々におかれましても、上記申し込みを持って本申込とさせていただきます。お手数ですが、再度必要事項について記載をお願い申し上げます）

4. お問い合わせ

NPO法人ETIC.（担当：川島、平野、森本） jussin@etic.or.jp

(別添1) JUSSINアニュアルフォーラム2026 プログラム案

(※プログラム内容は急遽変更することもあります。予めご了承ください)

10月19日 (DAY1: 複雑な社会を動かすNPOリーダーシップについて考える)	
10:00	イントロダクション
10:45	基調セッション「アメリカと日本を取り巻く市民社会のいま～NPOが直面する課題と可能性」
12:40	昼食
13:45	インスパイアトーク「アメリカ社会で取り組むNPOリーダーたちの実体験に学ぶ」
18:00	ホテルチェックイン、休憩
19:00	コミュニティディナー交流会
	宿泊
10月20日 (DAY2: コミュニティの力でイノベーションの源泉を探究する) (※終日、アルムナイの参加あり)	
9:15	ディープダイブ・セッション (小グループでのテーマ別の学びとディスカッション)
13:00	ホームカミングランチ交流会
14:10	イノベーション・セッション (アルムナイの事後連携トークと日米コラボのアイディエーション)
19:00	夕食 (施設内)
	自由懇親、宿泊
10月21日 (DAY3: 自らのリーダーシップ、団体のビジョン、行動をアップデートする)	
9:15	メンタリング・セッション (アメリカのNPOリーダーとの組織別1on1) 前半
11:30	昼食
13:00	メンタリング・セッション (アメリカのNPOリーダーとの組織別1on1) 後半
15:00	3日間のハーベスト
16:00	クロージング
17:00	終了・解散

(別添2) 本セッションで目指すインパクト

本セッションは、アメリカからの招へいスピーカーからのインプット、並びに日本人参加者同士の対話を深めることで、日本のNPOリーダーたちが自らが新たに目指すビジョンやその道筋を検討する機会を提供します。

具体的には以下のアウトカムを柱に、学びと対話を深めます。

1. システム変革への視点と自団体が担う役割を再検討する

- NPOが直面する社会課題の**根本原因**をより深く理解し、単なるサービス提供に留まらない**システム変革**への道筋について理解を深める
- 分断や対立が深まる社会で、NPOとしていかに**多様なアクターとの連携を構築し、社会全体の合意形成を促進するか**について、新たな視点と実践的ヒントを得る
- 自組織の活動が社会全体の中でどのような**「価値」と「役割」**を持つのかを再考し、明確なビジョンを言語化する

2. 持続可能なインパクト創出のための経営を考える

- NPOの成長段階に応じた**財務と組織戦略**のあり方について理解を深め、自組織の現状と将来を見据えたロードマップについて着想を得る
- 資金調達、人材育成、内部統制といった経営課題と、共感や社会的資本といったNPO本来の**価値創出との両立のアプローチ**を探る
- 自組織の活動が生み出す「社会的インパクト」をより具体的に定義し、ステークホルダーへの説明責任を果たすための新たな知見を得る

3. 自らのリーダーシップとピア・コミュニティの構築

- 社会変革を牽引するリーダーとして、**自身のリーダーシップスタイルを客観的に理解**し、次なる成長のための課題と機会を検討する
- 自組織の活動が、既存のターゲットに留まらない「すべての人」を対象にしながら、社会全体や構造そのものに働きかけうるのか、自らに問い直し、分断を埋めるアプローチを再設計するための視点を得る
- 本研修で出会う**「志を同じくする仲間」とのネットワーク**を構築し、継続的な学びと実践のための支援コミュニティを形成す